



ボランティアとは

ボランティアという言葉は多くの人々の、目や耳にふれるようになってきました。ところが、まだ、その言葉の本当の意味がわかっていない人も多く、また、その意味を知りたいと願っている人もあると思います。「奉仕」という立派な日本語があるのに、なにも外国語を使わなくてもという考え方もありますが、奉仕と直訳できない意味があるのです。

ボランティア活動とは「平等な人間関係の中で、自発的に行なわれる社会的行為」ということであり、つまり「自発性にもとづいた社会奉仕」ということです。社会のために、人のためにつくしたい、役立ちたい。この気持は本来人間だれしもが持っている尊い心だといわれています。ボランティア活動は、いつでも、どこでも、だれでもできる活動です。列車や、バスの中で老人に席をゆずる。横断歩道で小さい子供や、体の悪い人に手を貸す。このような日常生活の中であたりまえの行為が、ボランティア活動の第一歩なのです。

私達が社会生活を営む上で、だれでも一人では生きられないのだという共同意識と、自分と、自分の生活している社会をよりよいものにしていこうとする連帯感によって行われる自発的な活動がボランティア活動です。

朗読ボランティア・ひばり会



だれもがもっている善意と、善意の心を白根市善意銀行（ボランティア・センター）へお預けください。あなたの技術や熱意を求めている個人と団体へ紹介します。みなさんのやさやかな善意の心を集めて、心ふれ合う明るいまちづくりを進めていきましょう。現在、登録されているのは二十人と三団体です。その三団体を紹介します。

朗読ボランティア「ひばり会」
点字の読めない目の不自由な人たちのために、朗読テープの吹き込みを行うボランティア・グループ

白根市レクリエーション協会
楽しいつどいの持ち方やゲーム指導など、お年寄りやハンディをもつ人たちの余暇活動のお手伝いをします。

世帯更生資金
生活にお困りの世帯や身体障害者世帯に、更生、生活、住宅資金など、年三%の低利息で貸し付けます。資金の種類により貸付限度額や返済の据置期間が異なりますので、気軽にお尋ねください。

白根市善意銀行（ボランティア・センター）

やさやかな善意から大きな福祉へ あなたの登録と活用を待っています

プです。月一回の研修会を行って朗読技術の向上を図っています。吹き込んでほしい書物があつたらお気軽にご相談ください。

白根ソーシャル・サークル
身体障害者や寝たきりのお年寄りがかかえる世帯、一人暮らしのお年寄りや話し相手や散歩相手が見つからないなどの要請にお応えします。

心配ごと相談所
非行、家族関係、金銭貸借、土地財産の問題など、どんな相談にも気軽に応じます。相談は無料で、秘密は固く守られます。

小口資金貸付制度
生活にお困りの世帯を対象に、緊急時のつなぎ資金として、二万円を限度に無利息で貸し付けます。この資金を利用される人は、担当民生委員に申し込んでください。

みんなが幸せに暮らせるまちづくりのために あなたも手話の技術を身につけてみませんか

手話講習会

私たちは、耳や言語の不自由な人たちとともに生活しています。これらの人たちをより理解し、ともに生活しやすい社会をつくるために、手話講習会を開きます。この講習会は、障害者に対する理解を深めるとともに、特に聴覚障害者に対する諸問題を考えながら、手話の技術を身につけるため開かれるものです。ボランティア活動に関心のある人、手話を覚えてみたい人、ふるってご参加ください。



白根市社会福祉協議会（白寿荘内、☎三〇九六）

- とき 七月三十一日から十一月六日まで 毎週土曜日（計十五回）午後一時三十分から四時まで
- ところ 市青年教育センター
- 対象者 市民および市内の事業所、学校に勤務、在学する中学生以上の人、定員は六十人（先着順）
- 講師 県手話サークル連絡協議会顧問 古俣 保氏 □内容 身体障害者などに接するときの心構え、ろうあ者教育とその諸問題、手話技術ほか □受講料 五百円
- 申し込みと問い合わせ 七月二十五日までに、電話かハガキで市

社会福祉協議会（白根市大字白根白寿荘内、☎三〇九六）へ、お早目に、定員になり次第、しめ切らせていただきます。

耳の不自由な人には話し好きな人が多いのです。手話は聞こえない人たちの間で、自然発生的に生まれた手まね、身ぶりの会話法です。このほか口話と筆記による方法があります。まず、心を開いて話しかけてみてください。

